

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために 手を取り合おう
RI 会長テーマ

2025～2026 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

会 長 菅野 嘉洋
副会長 三田地大悟
幹 事 松田 福美



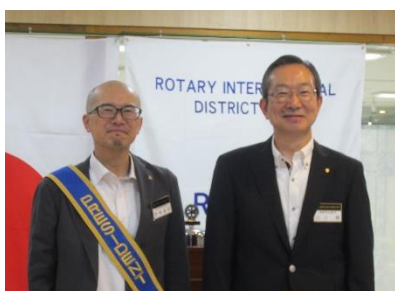
= 会長指針 =
そして社会も磨きましょう

・・・ 例 会 記 録 ・・・

7 月第 1 回例会 2025 年 7 月 3 日 (木)

ソ ン グ : 君が代・4 つのテスト ボックス : 18,000 円 (報告者 佐藤裕貴会員)
本日出席率 : 54.84 % (報告者 藤原太伸会員)

会長・幹事のバッジ交換



新入会委員入会式



氏 名 千葉満輝 (ちば みつてる) 君
勤務先 (株)マイヤ

野球・ゴルフ等今後の活躍に期待

菅野丸出航です!!

◆ 加藤ガバナーよりクラブ宛メッセージ ◆

親愛なる大船渡西ロータリークラブの皆様へ

このたび、2025-26 年度 国際ロータリー第 2520 地区ガバナーを拝命いたしました加藤雄彦 (たけひこ) でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

1970 年 5 月 17 日に創立された貴クラブが、本年 55 周年という大きな節目を迎えられましたことに、心よりお祝い申し上げます。長きにわたり築かれてきたその歴史と伝統に、深く敬意を表します。私自身 1958 年生まれ、干支も同じ戌年ということで、勝手ながら親しみを覚えております。

さて、本年度の国際ロータリー会長予定者であった マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏は、次の 3 点を力強く訴えていました。

1. 会員増強 (Membership) 2. 会員増強 (Membership) 3. 会員増強 (Membership)
なぜ、これほどまでに会員増強が強調されているのでしょうか。

それは、ロータリーが「人類の持続可能な平和と健康を守る」世界最大の奉仕団体として、未来に向けてその意義を持続・発展させていくためには、より多くの仲間を迎え入れ、魅力あるクラブづくりを進めていくことが必要だからです。

また、1953-54 年度より続いてきた「RI 会長テーマ」は、本年度から「会長メッセージ」へと形を変えました。会長が掲げるメッセージ“Unite for Good（良いことをするために団結しよう）”には、ロータリーの中核的価値や「四つのテスト」への確かな実践を、各クラブ自らの意思と行動で深めてほしいという強い願いが込められています。

大船渡市は、東日本大震災からの長い復興の道のりに加え、本年 2 月には大規模な林野火災という新たな試練に見舞われました。その際、2024-25 年度の佐藤剛直前ガバナーが全国 34 地区に呼びかけ、総額 7,000 万円を超える義援金が寄せられました。これはまさに、「ロータリーマジック」の真髄と申せましょう。

地域社会に根ざし、良いことのために団結する——その理念を掲げ、これからも地域経済の振興、環境への取り組み、青少年支援など、幅広い活動を力強く展開していただくことを心より願っております。

共に、誇りあるロータリアンとして歩んでまいりましょう。

★ 会長の時間 : 菅野嘉洋会長



あらためまして皆様この一年間どうぞよろしくお願いいたします。

このあと新役員挨拶の場でお話する時間がありますので、今年度の方針や私の所信表明的なものについてはその時にお話したいと思います。

なので会長の時間についてはさらっとお話をしたいと思います。

さて記念すべき第 1 回目の会長の時間にどんなことを話そうか？と考えましたが、なかなかすぐにはいいアイデアが浮かびません。悩んでいるうちにふと思いついたのが、西クラブのホームページです。そうだ、会報のバックナンバーを見てみよう。パスト会長の皆さんがどんなことを語っていたのか参考に

にさせていただこう。という安直な考えでバックナンバーを覗いてみたのですが、これが予想以上に面白い！思った以上に読み込んでしまいました。引っ越しや大掃除の時にはまってしまうあれです。

やはり皆さん素晴らしい中身となっております、会長の時間自体は決して長い時間ではないわけですが、内容は結構濃いものが多い。また、その時その時の会長の色がでているので、とても興味深いものとなっております。皆さん大変よく勉強されているなあと、感じ入りました。また、バックナンバーの会報を読み始めると結局プログラムの方にも目を通すことになってしまい、これも面白かったりするので、ぜひ時間があるときにでも皆様目をとおしていただくのもよろしいかと思います。遡って 10 年くらい、上野さんが会長の年度のものから読めるようです。なかなかよいこと書いてありましたよ（守破離の話とか）。ただ自分で書いたものはきっと恥ずかしくて読み返す気にはならないと思います。

貴重な資料でもあると思いますので、会報を作成・編集していただいている和賀さんにはあらためて感謝申し上げたいと思います。ただ、今申し上げたように会報のアップだけでも価値はあると思うのですが、せっかく立派なホームページがあるのに活かしきれていないような気がします。西クラブに興味を持った方がいればホームページをとりあえず見てみるということは結構多いのではないのでしょうか。ホームページの活用についても検討していきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。



幹事報告



- 1 大船渡市社会福祉協議会より
森林火災被災者の応急住宅への入居完了により避難所が閉鎖された報告と支援への礼状が届いています。
- 2 吉浜荘より タオル寄贈に関する礼状が届いています。
- 3 ガバナー事務所 より
 - ① クラブサポートミーティングのための 24・25 年度実績入力のお願いが届いています。 入力期間 7 月 1 日～11 日
 - ② ロータリー米山「オンライン参加奨学生」受け入れ希望の有無確認が届いています
締め切 7 月 3 1 日
※「オンライン参加奨学生」：2026 学年度に実施される奨学生の 12 回の例会義務出席の内
数回に限りオンライン出席を認める。遠隔地での奨学生受け入れを可能にするため
 - ③ 前期地区資金送金願いが届いています。 7 月 2 2 日締め切
 - ④ RYLA 開催の案内が届いています。
日時 9 月 6 日～7 日 場所 東松島市「未来学舎キボッチャ」
締め切 8 月 1 0 日
 - ⑤ 青少年長期派遣生募集の案内が届いています。 締め切 9 月 1 6 日
 - ⑥ ロータリーレート 1 ドル 1 4 5 円
- 4 加藤ガバナーより
 - ・クラブ活性化に向けた協力のお願いが届いています。
会員一人ひとりが「参加者」から「体験の創り手」となる機会づくりに取り組んで頂きたい。
 - ・RI 会長メッセージバッジと地区会員ハンドブックを全会員に贈られました。
(本日配布済み)
- 5 2024・25 年度ガバナー事務所よりお礼と事務所閉鎖のお知らせが届いています。



本日のプログラム



会長・新役員挨拶

★ 会長：菅野嘉洋



皆様こんにちは。

とうとう、というかついにこの日を迎えることとなりました。この日を迎えるまでの 3～4 カ月間の準備期間はけっこういろいろやることもありまして、へこたれそうになることもありました。つくづく準備が重要だということを痛感するばかりでしたが、会員の皆様にご協力いただき、なんとかこの日を迎えることができたことに感謝したいと思います。 私は齋藤俊明会員の推薦をいただき 2015 年に入会いたしました。ちょうど今年が入会 10 年目の節目の年になります。もうそんなに在籍していることに少々自分でも驚いておりますが

この度会長の大任をお引き受けすることとなりました。まだまだ未熟な身ではありますが、あらためまして皆様よろしくお願い申し上げます。

今年度のテーマは「そして社会も磨きましょう」としました。詳細は活動計画書を見ていただきたいと思います。ですが、会員同士の親睦のさらなる向上を目指して一年間頑張っていきたいと思っています。

具体的な今年度の方針としまして、例会は基本的に毎週開催する。夜例会の機会を月1回程度設ける、ということで進めていくこととしました。そして、会員の卓話を増やしたいと考えております。まず、先輩の皆様、主に20年以上クラブに在籍している先輩の皆様方から1回以上の卓話をお願いしたいと考えております。ロータリークラブのこういうところが良くて現在までクラブに関わっているんだよね、こういうきっかけがあってロータリーが好きになったんだよね、というようなことをお話していただければと考えております。本当は会員の皆様に1回は卓話をしてほしいという気持ちなのですが、例会数も限られておりますので、まずは先輩方をお願いしたいと思います。

また、今年度についてはコロナ以降ストップしていた韓国南原中央ロータリークラブとの交流も再開させたいと思っております。先日南原・ソウルへ訪問して感じたことですが、文化の違いはあっても、他人を思いやる気持ちは共通であること、文化の違いがあるからこそ、あらためて日本の文化を見つめ直すことができること、など、交流することによって得られるものはたくさんあるのでは、と思いました。まずは会員同士の交流をしてみませんか、ということで先方に打診をしておりますので、具体的な形が見えてきましたらまたご報告・ご相談させていただきたいと思います。

その他にも、親睦旅行もやってみたいとか、あとは山口年度で試みたグルメ同好会のような、会員の方々の趣味をベースにした同好会的な活動もしてみたい、とかいろいろ思いを巡らしておりますが、どこまでできるか。あまりあれもこれもとなると尻切れトンボになってしまうかもしれませんが、できる限り親睦を深めるための機会を作っていきたい。会員の皆様もこんなことをしてみたい、みんなでこんなことをやれば面白いのでは、というようなアイデアがありましたら是非ご意見をいただけたらと思います。

そして私が常々感じていることなんですが、ロータリーの会員の皆様はやはり面白い、何かしらの魅力がある方が多い。それをお互いがあまりよく知らないということは、なんともったいないことなのだろうか、ということを私は思っております。ぜひこの一年、お互いをもっと深く知る期間に充てていただきたい（スポットライトは悪いところではなく良いところに当てていただきたい）。そうすることで、お互いを尊重する、敬意が生まれる、喜ばしいことがあれば「おめでとう」と称え、悲しいことがあれば「大丈夫か」と気遣い、大変なことがあれば「頑張ろう」と励ましあう、お互いを気に掛けるような関係が形成できればいいなあ、というのが私の思いです。

ただ、注意しなければいけないのは、親睦そのものは目的ではないということです。親睦によって育まれた人間性を基に、世のため人のために良い影響を与えることが究極の目標です。ロータリーに参加して楽しむことは必要ですが、大事なのはそこで相手への敬意や思いやりを育むことです。それがつまりは自分を磨くということにつながるでしょうし、自分が磨かれれば周りにも自然にいい影響を与えることができる、という期待もこめて「そして社会も磨きましょう」というテーマとしました。

今日お話したこと、私の掲げたテーマについては、決して目新しいことではありません。また、特別新しいことを取り入れる予定も今のところありません。ただ少しでも会員の皆様方が、ロータリーにいて良かったなと思えるよう、努力してまいりたいと思います。

この一年間皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

★ 副会長：三田地大悟



今年度、1年間にわたり副会長を務めさせて頂くことになりました三田地大悟です。菅野会長が掲げたテーマのもと会長をサポートしながら務めて参りたいと思いますので宜しくお願いします。

副会長として、最終例会でもふれましたがクラブ強化部門の担当でもあります。

今年度は2名が抜けた形でスタートを切りましたが、活動計画にも掲げましたように、何よりも会員の皆さんから多くの情報提供のもと会員増強に向けて活動して行きたいと考えております。

情報提供だけではなくリスト化とアプローチ、フォローと積極的に関わり合いたいと考えておりますので、皆さんへのお願いやご協力も多くなる事と思いますが何卒宜しくお願いします。

そして、会員増強に関しましては小委員長に志田成樹会員をはじめ、齊藤俊明会員、新沼福三会員、藤原太伸会員、熊谷廣会員と最強メンバーで目標に掲げております5名の増強に向け取り組んでまいりますので宜しくお願い致します。

そして、クラブ強化部門のもう一つがロータリー情報です。メンバーには小委員長の船砥俊昭会員、金比呂正会員となります。ロータリー会員の責務を十分理解してもらえよう情報提供と発信を行いつつ、歴史や活動の紹介などを踏まえた新入会員セミナーの実施等取り組んでいきます。

まずは、私自身が副会長の重責に押しつぶされないよう精一杯頑張ります。

と言いたところですが、とてもとても弱い人間で、ガラスのように傷つきやすい心を持った人間です。1年間あたたかい目で見守って頂ければと思います。

この1年間菅野会長のもと、微力ではありますがしっかり副会長の職を務めて参ります。

会員の皆さん、そして事務局の和賀さん、ご指導・ご協力の程よろしくお願い致します。

★ 幹事：松田福美



みなさま、こんにちは。

このたび幹事を拝命いたしました松田福美です。どうぞよろしくお願いいたします。

6月の最終例会でもお話ししましたが、7月より1年間、幹事を務めさせていただくこととなり、その責任の重さを感じております。

私が入会した当初は、仕事の都合でなかなか例会に出席できずにおりました。そんな中、すでにお亡くなりになった会員の前原さんが、いつも優しくお声がけくださったのを思い出します。

特に出席率の低かった私に対して、「松田さん、大船渡ロータリークラブにメーキャップに行かない？一緒に行こう！」と、たびたび誘って下さいました。

当時は「メーキャップって何ですか？」と尋ねましたところ、他クラブの例会に参加すると、当クラブの出席率に加算される制度だと教えていただきました。

その後、前原さんとともに大船渡クラブに何度かメーキャップに伺いました。すると、毎回と言ってよいほど、齊藤俊明さんも参加されていたのです。当時、齊藤さんはまださいとう製菓の社長であり、「鴎の玉子」や「東京玉子本舗」の社長も兼務。さらに、商工会議所の会頭をはじめ、全国の菓子組合や食品衛生組合など、数多くの要職を務められていました。そんなご多忙の中でも、ロータリークラブの出席率100%を維持されていたのです。

「いつ例会を休んでもいいように、他クラブにメーキャップに行って“出席の貯金”をしているんだよ」とのお話には、大きな学びがありました。それからは私も100%とはいかずとも、自分の都合がつくときにはできるだけ参加しようと心がけ、陸前高田RCへもメーキャップに行くようになり一人で参加するのが気恥ずかしいと感じるときは、同期に声をかけて一緒に参加したこともあります。

ですので、最近入会されたみなさんにも、そうでない方々も、ぜひメーキャップをおすすめしたいと思っています。「他のクラブに行ってみたいけれど、ちょっと不安」という方がいらっしゃいましたらぜひ一緒にしましょう！

最後になりますが、菅野会長とともに、会員のみなさまとの連携を大切にしながら、楽しくスムーズなクラブ運営の一助となれるよう、誠心誠意努めてまいります。

至らぬ点も多々あるかと存じますが、どうか今まで通り温かいご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

★ 会計 鈴木信男



今年度も会計を担当します鈴木です。

早速会費請求書を配布させて頂きましたが、先ほどの幹事報告にもありましたが、地区資金送金期日がすぐにやってきます。

役員の皆様はじめご都合のつく方は、年会費一括納入にご協力お願いいたします。

ボックス報告 佐藤裕貴会員



出席報告：藤原太伸会員

